

AIはアイヌ語を 話せるようになる?

近年、人間と会話したり外国語の文章を翻訳したりする人工知能が急激に進化しています。しかし、日本の現地語の一つであるアイヌ語のような、いわゆる「少数言語」のための人工知能の開発は遅れています。この講義では、アイヌ語・アイヌ文化を紹介しながら、「アイヌ語を話せるAI」の開発取組みについて説明します。

ノヴァコフスキ・ カロル 講師

- 出張講義分野
人工知能、言語学
- 研究分野のキーワード
人工知能と言語、アイヌ語
- 専門分野
自然言語処理、計算機言語学



大学ではこんなことを研究しています

アイヌ語とは、北海道をはじめ、サハリンや千島列島で話されてきた言語です。日本語とも、同じ東アジアの他の言語とも異なる特徴を持つユニークな言語として、世界中の学者の注目を集めてきました。現在、アイヌ語話者が非常に少なく、絶滅の危機に瀕しています。私の研究ではコンピュータと人工知能を使って、アイヌ語の研究や復興運動が直面している課題に取り組んでいます。

先生からメッセージ

これからの時代、日常場面全てにおいて重大な役割を担うと期待される人工知能をより身近なものと感じ、その仕組みと応用可能性を理解してもらうように心掛けています。

また、アイヌ語・アイヌ文化など、日本国内外に存在している多様な文化について学び、視野を広げてもらいたいと思います。

略歴 ポーランド出身。北見工業大学大学院工学研究科生産基盤工学専攻博士課程後期課程修了。博士(工学)。
2021年4月より現職。